

第14回日中友好交流会議 大阪宣言

日本と中国の全国津々浦々から日中双方300名を超える人々が大阪に集い、9月22日から23日にかけて、第14回日中友好交流会議を「民間交流の新たなる高まりを！」というテーマのもとに開催致しました。

この友好交流会議は、日中双方の友好協会の宇都宮徳馬、廖承志両会長の発意で生まれ、第1回が1983年北京で開催されました。日常的に日中友好交流に携わるもの同士が、率直に問題点を語り合い、友好事業を発展させたい願いからでありました。約30年にわたり、日中関係の紆余曲折、山あり谷ありの道のりの中で、大きな役割を果たしてまいりました。

現在日中関係はご承知のとおり歴史問題と領土問題により、この数年大変厳しい状況下にあります。日中両国民の国民感情も、冷え切っております。私たちは、一衣帯水の隣国である日中両国が、このような状態であってはならないとの思いからここ大阪に集まりました。

思えば、両国の先輩は歴史的教訓に基づき、国交正常化の実現のため、犠牲を恐れず心血を注ぎました。長年にわたり民間交流に尽力してきた私たちは、歴史を振り返り「争えば共に傷つき、和すれば共に栄える」という言葉をかみしめ、日中友好が両国民の根本的利益に合致することを重く認識しております。

私たちは、歴史をかみしめ、未来を展望し、豊多彩な民間交流を、着実に、力強く推進し、「相互に温かく、思いやりのある」友好交流ができる新しい局面を作り出す決意であります。

さらに、私たちは、日中両国関係に問題が起これば、日中共同声明をはじめとする4つの重要な文書の原則と精神に拠りどころを求めて、早急かつ適切に対処すべきだと思えます。現在、両国は共に叡智を出し合って、早急に難局を乗り越え、日中関係が健全且つ安定的な発展の軌道に戻れるよう努力しましょう。

2014年9月23日

第14回日中友好交流会議

(日本・大阪にて)

第 14 次中日友好交流会议大阪宣言

9月22日至23日，中日双方300余人相聚大阪，以“掀起中日民间交流新高潮”为议题，召开了第14次中日友好交流会议。

中日友好交流会议始于1983年，基于为共同致力于中日友好交流的两国有识之士及时就各种问题坦率交换意见，更好地发展友好事业的宗旨，由时任中日友协会长廖承志和日中友协会长宇都宫德马共同倡议，在北京召开了第一次会议。30余年来，在中日关系跌宕起伏的发展过程中，中日友好交流会议始终发挥着重要作用。

众所周知，当前中日关系由于历史和领土问题陷入严峻局面，两国国民感情严重恶化。中日两国是一衣带水的邻国，目前的局面是我们不愿看到的。为此我们齐聚大阪，召开了本次会议。

抚今追昔，两国老一辈先贤基于历史教训，为实现两国邦交正常化鞠躬尽瘁、呕心沥血。多年来，我们一直致力于推进民间交流，而今更加深切地认识到，“和则两利，斗则俱损”，中日友好符合两国人民的根本利益。

我们决心，以史为鉴，面向未来，扎实开展丰富多彩的民间交流，努力再创“热情友好、互敬互谅”的友好交流新局面。

我们一致认为，每当中日关系出现问题时，双方应根据中日联合声明等四个政治文件的各项原则和精神及时妥善处理。我们呼吁两国共同拿出智慧，早日克服困难，推动中日关系回到健康稳定的发展轨道。

2014年9月23日

第14次中日友好交流会议

（于日本大阪）